

今期 建設業の景況・売上・経常利益改善の兆し

消費税駆け込み需要による

調査時期…平成25年7月～9月
 調査対象企業数…200社
 回収数・率…168社 84%

7～9月期全産業の業況感 前期▲29.5ポイントから今期▲31.7ポイントであり、2.2ポイントと僅かであるがマイナス幅が広がった。平成24年10月～12月期を底に順調にマイナス幅が縮小してきたが、今回はやや広がる結果となった。

ただし来期の見通しについては、全産業の業況のマイナス幅が縮小するなどアベノミクス等経済対策への期待も窺える結果となった。

建設業

業況・売上・経常利益ともに前期と比べて改善した。これは2014年4月の消費税引き上げ前の駆け込み需要の発生によるところが大きいと思われる。平成25年9月までに住宅建築請負契約を結べば現行の5%が適用される経過措置があることから、駆け込み需要が取れる企業は今期及び来期への見通しは明るい結果となった。

経営上の課題としては、官公需要の停滞、材料価格の上昇が上げられた。

製造業

業況は3.1ポイントマイナス幅を広げ、来期の見通しはさらに悪化すると予想され、5業種のなかで最も厳しい結果となっている。経営上の課題として、原材料価格の上昇の一方、販売単価が低下し利益を一層圧迫する結果となっている。

卸売業

業況・売上ともに前期より回復している。さらに来期への見通しも改善するとしており、明るい兆しが見える結果となった。

小売業

業況・売上・経常利益共に前期より大幅にマイナス幅が広がっている。理由は、需要の停滞とニーズ変化への対応が遅れているとした回答も多く、通信販売、とりわけスマートフォンなどへの対応が出来ていない企業が多いと予想される。

サービス業

業況・売上・経常利益共に前期より大幅にマイナス幅が広がった。来期の見通しは小売業と同様に改善すると回答している。

(吉田)

景況天気図 (平成25年7～9月期)



	前期 25.4～6月	今期 25.7～9月	来期見通し 25.10～12月	前期 25.4～6月	今期 25.7～9月	来期見通し 25.10～12月	前期 25.4～6月	今期 25.7～9月	来期見通し 25.10～12月
建設業			製造業			卸売業			
業況	▲14.7	▲6.9	▲8.3	▲37.5	▲40.6	▲45.2	▲46.4	▲32.1	▲29.6
売上	▲29.4	0.0	11.1	▲41.9	▲66.7	▲34.4	▲36.7	▲30.0	▲23.3
経常利益	▲31.3	▲28.6	▲18.5	▲26.5	▲57.6	▲45.2	▲20.7	▲30.0	▲36.7
小売業			サービス業			全産業			
業況	▲35.1	▲43.2	▲22.2	▲17.1	▲31.4	▲15.8	▲29.5	▲31.7	▲24.4
売上	▲34.2	▲44.7	▲27.0	▲8.6	▲26.3	▲5.3	▲27.5	▲34.7	▲16.5
経常利益	▲36.8	▲47.2	▲36.1	▲11.8	▲32.4	▲16.7	▲28.0	▲39.6	▲30.6